

みんなの広場

《号外》
 発行 平成20年 1月16日(水)
 編集 神奈川県立大楠高等学校
 住所 横須賀市荻野14番1号
 電話 046-856-0024
 Fax 046-857-6354
<http://www.ogusu-h.pen-kanagawa.ed.jp/>

バスケットボール 神奈川県新人大会

男子バスケット部県ベスト16に！

次は東海大相模と対戦(19日)



【ディフェンスをかわしシュート】



【両チーム必死の攻防】

この新人大会には県下の
 高校二百二校がエントリー
 し、五十八校が県大会に進
 出した。大楠高校は、第一
 戦、第二戦に勝利し、県ベ
 スト十六に進出した。第三
 戦は、ベスト8を賭け東海
 大相模高校と対戦する。

土壇場で同点に

この新人大会には県下の
 沢高校体育館で対戦した。
 国体候補選手もおり、得点
 力のあるチームだ。六、七
 をつけられ、相手チームの
 ペースで試合は始まった。
 その後、大楠高校は次第に
 盛り返し、十一点を差につ
 前半を終了した。両チーム
 の力は拮抗し、この点差は
 縮まらなかつた。しかし、
 残り2分で、同点に追いつ
 かれ、1分を切ったところ

再び延長戦に

で逆転されてしまった。必
 死の大楠高校は、時間切れ
 寸前に梶原から下田へつな
 げたりパウンドシュートを
 決め、同点に追いついた。
 延長戦となり、大楠高校が
 一〇〇対八十八で勝利し
 た。

第二戦の相手は、横浜翠
 嵐高校。十四日、厚木高校
 体育館で対戦した。ゾーン
 ディフェンスが巧みなま
 まりのよいチームだ。立ち
 上がり十点を差をつけられ
 が、三十一対三十二まで追
 いつき前半を終了した。後
 半、十一点を差を広げら
 れたが、逆転に成功し5点
 リードに持ち込んだ。しか
 し、残り4秒で同点とさ
 れ、再び延長戦となり、七
 十五対七十二で勝利した。

我慢が生んだ

価値ある2勝

顧問 河内健一

県大会に臨むに当た
 って「集中力を切らさ
 ず、我慢をするこ
 と。」をテーマにし
 てきました。

1・2回戦ともに集中
 力が切れてしまい「も
 うだめか」という場面
 が何度もありました。
 しかし、チームはそこ
 で一気に崩れることな
 らず、吹き返すことが
 出来ました。「諦め
 ず、粘る」ことを繰り
 返し、激闘を2試合と
 も延長戦の末に制する
 ことが出来ました。
 この2試合で個人個人
 が我慢することがチー
 ムに大きな力となり、
 最後までやり遂げた達
 成感の気持ちよさを味
 わったと思います。次
 の相手は強敵ですが、
 最後まで全力で戦って
 いきたいです。

**努力
団結
勝利**

☆須永 怜於那（1年1組）

横須賀市立公郷中学

ベスト16になりましたがこの結果に満足しているわけではありません。ピンチになる時はきままって自分たちが集中力を切らしたり、守りをサボったりした時でした。一つ一つの試合をいっもどおりにやれば自然と結果につながることを知りました。延長になっても必ず勝つと思っていました。

☆武藤 直斗（1年1組）

横須賀市立大楠中学

中学の時に県大会の経験がないので、大楠高校に入ってから、県大会に出て試合に勝って本当に嬉しかったです。試合に勝ったのはみんなのおかげだと思っっています。一回戦目も二回戦目も延長戦になると思わなかったのととても厳しかったです。次の試合は気合を入れて頑張ります。

☆村井 健（1年1組）

横浜市中和田中学

ベスト16になれたのは、やっぱりみんなのおかげだと思っっています。競り合っている時は苦しかったです。一回戦目も二回戦目も延長戦になると思っっていたのでハラハラしました。次の試合は、気合を入れて頑張ります。

☆久木 海里（1年5組）

横須賀市立大楠中学

みんなの心が一つにまとまったからベスト16という結果が出ました。日々の練習成果が出たし、最後まで諦めずに出来て良かったです。試合に出た5人だけでなくチーム全員の力で勝てたと思います。

☆橋本 和樹（1年5組）

横須賀市立大矢部中学

みんなの心が一つになって頑張ったから良い結果が出たと思います。二回戦目の試合は、接戦で延長戦になって苦しくなりましたがみんな頑張ったから勝ちました。次の試合はシード校との対戦なので次も勝ってどんどん上へ行きたいです。

☆梶原 啓祐（1年6組）

横須賀市立公郷中学

正直一年生でここまで勝ち進めるとは思っただけだったからすごく嬉しかった。ここまで勝ち進めたのは、練習の成果が出たからだと思う。試合に勝ったとき練習を頑張った本当に良かったと思った。

☆下田 悠介（1年7組）

三浦市立上原中学

一試合目は追いついて嬉しかった。二試合目は追いつかれなくて苦しかった。次の相手は強いので勝ち負けじゃなくて自分のプレーがどこまで通用するか試してみたいです。相手のセンターを倒す。

☆北見 義久（2年3組）

横須賀市立不入斗中学

二試合とも残り5分間集中力を切らさず、みんなで声を出し合って最後まで戦うことが出来て、試合に勝った後は、今までに体験したことがない満足感が得られました。次の試合では、最後まで死に物狂いで戦いたいです。

☆坂口 拓也（2年3組）

葉山町立葉山中学

試合開始当時、リズムが取れなくてとても苦しい試合になったと思います。延長戦になったときは心臓がドキドキ

ました。だけど勝ったときはホッとしました。次の試合では勝ってベスト8になりたいです。

☆出口 大輝（2年5組）

葉山町立葉山中学

河内先生のもと、みんなが苦しい練習を乗り越えてきたのでベスト16になれたと思います。県大会出場に続きベスト16までこれたのは一人の力でなくみんなの力が合わさったからだと思います。次の試合は勝負どころなので気合を入れて頑張りたいです。

